
魔女と月夜と狼少年

湯宮晶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔女と月夜と狼少年

【Nコード】

N0346D

【作者名】

湯宮晶

【あらすじ】

僕の日常は平穏で平凡だった、そう、あの夜に同級生の黒風沙夜が魔法を使う所を見さえしなれば。ひよんな事からクラスメートが魔女だと知ってしまった主人公・北白朔斗の受難の日々を描いたハイテンション・ファンタジー。

プロローグ：兎の夢

その少女は小高い時計台の上に立っていた。時計台の屋根の先端、そこに 単純に立っていた。端から見れば危ういバランスだが、少女はまるで自分が安定した地面の上にいるかのように直立不動だ。

もう夜更けと言っても憚らないくらいの時間のはずなのに、まだまだ地上は騒がしい。街のネオンは煌々としているし、車のライトが忙しく行き交っている。

少女はうるさいのも、派手なものも好んではない。

けれど少女は、その夜景を嫌いでは無かった。

夜風がざあつ、と彼女の頬を撫でる。彼女の帽子についている兎の耳が、ひらひらと揺れた。

「ふう」

明日には仕事に取り掛からなければならない。あまり気分は乗らないが、自分のせいだし仕方ない。

そして何より、少女は地上が好きだった。好きという事より大事な

理由が、この世のどこにあり得るのだろう。

少女は時計台の先端を蹴り、夜の闇へと跳ねた。

ブログ：兎の夢（後書き）

ここまで読んで下さってありがとうございます。初投稿なので不届きな所もあると思いますが、何卒ご容赦下さいm（＿）＿（m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0346d/>

魔女と月夜と狼少年

2010年12月19日07時04分発行